

行動科学・実装科学セミナー 第3回 行動科学セミナー

講師：鳥取大学大学院医学系研究科
臨床心理学講座 教授
井上 雅彦 先生

テーマ：臨床行動分析から人の認知や行動の原因を探る
－環境調整と本人への支援－

日時 2021年 8月 23日 (月)16:00 ～ 17:00

会議ツール Zoom

参加申込 QRコードよりお申込みください

参加申込締切 2021年8月20日 (金) 12時



講師プロフィール：公認心理師、臨床心理士、専門行動療法士、自閉症スペクトラム支援士（エキスパート）。兵庫教育大学大学院 臨床・健康教育学系 准教授を経て現職。専門分野は応用行動分析学、臨床心理学、障害児心理学。応用行動分析学をベースにして、エビデンスに基づく臨床心理学を実践されています。対象は主に自閉症や発達障害のある人たちとその家族で、支援のための様々なプログラムを開発しています。

セミナー要旨：「問題」とされる認知や行動の多くは、いつも生じているわけではなく、当事者と環境との相互作用が関係しています。本セミナーでは、臨床行動分析という視点から認知や行動の治療・介入や改善について考えていきます。皆様のご参加をお待ちしております。

主催 国立がん研究センター 社会と健康研究センター 行動科学研究部
早稲田大学人間科学学術院

共催 J-SUPPORT（日本がん支持療法研究グループ）
N-EQUITY（健康格差是正のための実装科学ナショナルセンターコンソーシアム）
RADISH（保健医療福祉における普及と実装科学研究会：D&I科学研究会）

問合せ先 J-SUPPORT運営事務局 j-supportoffice@ml.res.ncc.go.jp



J-SUPPORT
Japan Supportive, Palliative and
Psychosocial Oncology Group